

ストーリー9

AIを活用した「株主総会アクセシビリティ向上サービス」の提供

SunnyBank

4.産業育成、イノベーション支援

5.少子高齢化への対応

8.人権尊重

社会課題

株主総会開催時の障がいのある株主への合理的配慮が義務化。
上場企業は何らかの施策が必要に



■取り組み概要

- ✓ 障害者差別解消法*（2024年4月施行）の改正により、障がい者への「合理的配慮の提供」が法的義務化されるなか、取引先企業の「株主総会における障害者対応」ニーズの高まりを認識
- ✓ 同ニーズに応えるべく、障がい者のアクセシビリティ向上サービス（聴覚障害者向け総会字幕サービス、視覚障害者向け招集通知作成）を提供する企業と提携。取引先企業へ紹介できる枠組みを整備



MUFG
考えたことが

障害者差別解消法の改正で上場企業は株主総会において障がいのある方への「合理的配慮」を求められており、株主名簿管理人（＝信託銀行における証券代行業務）としてサポートしたい

株主総会のデジタル化が進む中、AIの技術を活用すれば、コストを抑えながら障がいのある株主の役に立つサービスが提供できるのではないか

聴覚に障がいを持つ株主や聞こえづらさがある高齢の株主が自宅などで株主総会の映像配信を見る際に、総会の音声をリアルタイムで書き起こして字幕に表示するサービスを紹介

視覚障がいのある株主に向けては、株主総会の招集通知をHTMLデータ化し、音声リーダーが内容を読み上げて理解できるようにするサービスも紹介



MUFGが
実現すること

* 障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律

ストーリー9

AIを活用した「株主総会アクセシビリティ向上サービス」の提供

■ 障がいを持つ個人株主も情報格差のない株主総会の実現をめざす -企業と個人株主の対話促進-

- ・ 株式会社リコー、株式会社メジャメンツと共同開発した、株主総会のオンライン配信時における「株主総会リアルタイム字幕サービス」の紹介を開始
- ・ メジャメンツのサービスは、AIが生成した字幕に対し人手で修正を加えることで、発話内容をより正確に即時表示し、情報の正確性を高める仕組みを提供。修正作業は、メジャメンツ運営の障がい者専門クラウドソーシングサービス「サニーバンク」に登録する障がい当事者が担当。聴覚障がい者支援を、他の障がいのある方が補い合う形で実現している点が特徴
- ・ 字幕生成にはリコーの「聴覚障がい者向けコミュニケーションサービス Pekoe（ペコ）」を採用。音声をリアルタイムに可視化し、正確な情報伝達や双方向コミュニケーションを可能にする
- ・ 視覚障がいがある株主向けに、招集通知をHTMLデータで用意するサービスも紹介。内容を音声AIが正しく読み上げられるようになる

■ MUFGがめざす価値創造



施策・取り組み

- ✓ 株主総会におけるアクセシビリティ向上サービス（下記）を提供する企業と提携、取引先企業への紹介スキーム整備
 - 株主総会リアルタイム字幕サービス
 - 視覚障害者向け招集通知作成

社会的インパクト・達成したい状況

短～中期

- ✓ 障がいのある株主の情報アクセス格差が縮小する
- ✓ すべての株主が参加できる株主総会が拡大する

長期

- ✓ 包摂的な資本市場の実現
- ✓ 企業と個人株主の対話が促進され、企業価値向上を通じて経済・社会の発展に貢献

ストーリー9

AIを活用した「株主総会アクセシビリティ向上サービス」の提供

担当者は語る

Q どのような想いで本取り組みを行いましたか？

A 現在、企業と株主とのコミュニケーション施策ではデジタル化が大きく進んでいます。利便性が向上する中、視覚や聴覚に障がいがある株主さまが取り残されてはいけません。株主総会は、株主全員が等しく参加できる場でなくてはなりませんので、インフラ基盤を担う我々が関わるべき、という想いでメジャメンツ社の紹介業務を整えました。



Q 今後取り組んでいきたいことはありますか？

A 現在、国内の個人株主数は年々増加しています。企業さまから株主名簿をお預かりする我々ならではの視点で、必要なサービスをタイムリーにご紹介できるよう心がけてまいりたいです。今後も、あらゆる株主さまが「この会社を応援したい！」と思うことができる証券代行基盤づくりに取り組んでいければと思っています。

法人マーケット統括部
株主戦略企画室の社員

詳細は「サステナアクション」をCheck!

